

病院の概要

開設時期 昭和30年10月
開設者 羽島市長 松井聡
管理者 病院長 山田卓也
所在地 羽島市新生町3丁目246番地
病床数 一般病床271床
うち地域包括ケア病床148床
結核病床10床
職員数 318人（うち医師35人）
※R6.4.1現在 臨床研修医含む

診療科（26科）

内科 腎臓内科 血液内科 内分泌・糖尿病内科 リウマチ科
神経内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科 人工透析内
科 精神科 小児科 外科 消化器外科 整形外科 脳神経
外科 皮膚科 泌尿器科 産科 婦人科 眼科 耳鼻いんこう
科 リハビリテーション科 放射線科 麻酔科 臨床検査科

専門外来

禁煙外来 音声外来 乳腺外来
認知症外来 骨粗鬆症外来 肛門外来

HP



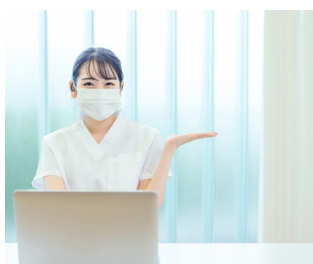
外来診察までの流れ



診療棟1階の「総合案内」に備えてある初診申込書に内容を記入します。



「1番初診窓口」で保険証（または個人番号カード）等を提出します。



「1番初診窓口」にて発行された受付票を、各診療科受付に提出します。



案内板に受付番号が表示されたら、受付票を持って診察室へ入ります。

紹介状をご持参ください

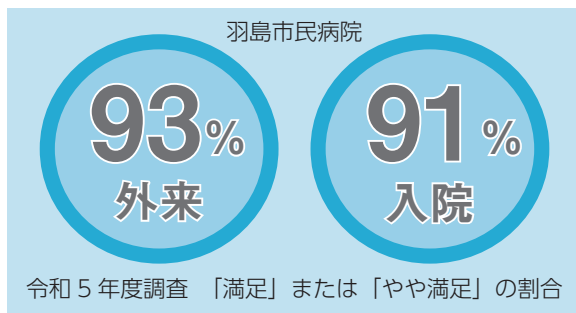
地域医療機関との連携

当院では、初診として受診されるときに紹介状をお持ちいただくと、通常の初診患者様より優先して診察をさせていただきます。

初診に係る保険外併用療養費

紹介状を持参されずに受診された患者様には、通常の医療費とは別に初診に係る保険外併用療養費として2,200円をお支払いいただきます。

患者さんの満足度



駐車料金は無料

外来患者	受診日	無料
入院患者 その家族	入退院当日	無料
見舞い 付き添い等	1時間ごと	100円 初めの1時間無料

市民病院の役割と位置づけ

住民の方々の命を守る医療の提供は、岐阜県が策定する「地域医療構想」によって定められています。羽島市民病院は、羽島市とその周辺地域における二次救急に加え、急性期と回復期の入院医療を行うことを主な役割としています。国の政策医療としての救急医療をはじめ、災害医療、小児医療、コロナなどの新興感染症にも対応しており、これらは採算性が低い分野です。当院は公立病院として、儲からない医療を含めた診療を行う医療機関として運営しています。

公立病院の経営 全国的に悪化

全国でも、コロナ禍後の公立病院を取り巻く経営環境が急速に悪化していることは、国会や新聞報道でもしばしば取り上げられています。令和5年度決算でも、岐阜県内16公立病院のうち、当院を含め15病院が純損失（赤字）を計上しています。

現在の医療制度では、病院の収益が診療報酬や人件費、物価の高騰などに影響を受けるため、経営努力のみでは改善が難しいことが明らかとなっており、国も制度改正を進めています。

経営改善への取り組み

公立病院の経営改善は、全国的な自治体の課題です。当院では、これまでも外部機関の支援を受け、経営改善を行ってきました。今後は、診療科別の経営診断をさらに進め、医業収益の拡大や医業費用の削減に取り組んでいきます。

病病連携をさらに促進するため、地域医療の分担及び連携（医療体制協力・経営協力など）の強化に向け、美濃市、海津市医師会、社会医療法人蘇西厚生会で構成される「美濃国地域医療リンケージ」への加入を検討します。

近隣の中核病院との役割分担

当院の近隣には、岐阜大学医学部附属病院、岐阜県総合医療センター、大垣市民病院などの三次救急を担う高度急性期病院があります。また、岐阜市民病院、松波総合病院などの規模の大きい病院もあり、高度な医療の提供を行っています。いずれも採算性の高い診療分野を担っており、経営上は優位な位置にあります。

当院は、岐阜圏域で位置づけられた役割を果たすため、それらの病院と連携を図っており、医師の確保や患者さんの相互受け入れを進めています。

「一部適用」「全部適用」の違い

公立病院経営は、民間企業に近い経営を行うため、地方公営企業法に基づき運営されています。同法の「一部適用」から「全部適用」への転換が経営改善に繋がるとの論議をされますが、明確なメリットがあるとは評価されていません。

羽島市では、市民病院と市役所側がスピーディな意思形成を行っています。全国的にみても、地方公営企業法の「全部適用」の形態変更が経営改善に直接寄与するという根拠は乏しく、「一部適用」の病院が経営状況が良好な事例もあります。

羽島市民病院 職員の想い

当院は、外来の患者さんに対して、診療棟入口に職員を配置し、「迷わない」「困らない」対応に努めています。各診療科では、常に迅速・親切な対応に努め、安心して診察をしていただける体制を整えています。患者さんからのご意見箱には、「命を救ってくれてありがとう」といった感謝・励ましの言葉が寄せられています。そのお言葉を医療職としての励ましと捉えて、働く原動力に変え、24時間365日、適切なる医療の提供を行ってまいります。

正しい情報をお知らせします

羽島市民病院 そよかぜ特別号